

認知症早期発見のための iPad アプリ CADi の開発

Development of an iPad application "CADi" for early detection of dementia

グループ紹介

研究代表者：小野田 慶一(医学部・学内講師)，塩飽 邦憲(島根大学・理事)

山口 修平(医学部・教授)

Leader: Keiichi Onoda (Assistant Professor, Faculty of Medicine)

Kuninori Shiwaku (Trustee, Shimane University)

Shuhei Yamaguchi (Professor, Faculty of Medicine)

概要

このプロジェクトでは、認知症早期発見を目的とした iPad アプリケーションを開発しました。Cognitive Assessment for Dementia, iPad version を略して CADi と名付けました。CADi は認知症の方が間違えやすい 10 個の問題で構成された認知機能検査ソフトです。住民健診等で運用することで、認知症早期発見につながります。キャディーはゴルフの援助者ですが、CADi は認知症患者を援助します。

Our project developed an iPad application for early detection of dementia. The application was named CADi, abbreviation for "Cognitive Assessment for Dementia, iPad version". The CADi consists of 10 cognition-assessing questions, in which dementia patients easily make mistakes. Utilization of CADi at medical checks in local communities leads to early detection of dementia. A caddie helps golfers, and CADi helps dementia patients.

特色 研究成果 今後の展望

CADi は記憶力や判断力が維持されているかどうか、短時間で検査できます。認知症診断における感度、特異度の検討を終え、本年度は島根県内 3 市町の住民健診にて 2000 名を超える住民の方に CADi を施行しました。得点が 10 点満点中 5 点以下(およそ 9%)で希望の方を対象として詳しい検査を行ったところ、60%以上の方が認知症の治療、もしくは経過観察が必要との結果が得られました。CADi はすでに App Store にて無料で公開されています。広く用いていただけるように今後も改良を重ね、全国各地の健診での利用を促進する予定です。アプリ入手は以下のアドレスから可能です。

<https://itunes.apple.com/us/app/cadi/id586052447>



<図1> App Store から iPad へ無料でインストールできます



<図2> 住民健診での CADi 運用の様子